

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	再生可能エネルギー利用機器設置費補助事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	市民生活部 生活環境課		担当者	物井 祐太			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	06	次代に引き継ぐ豊かな自然と環境				
	施策	01	次世代に継承する自然環境の保全				
	基本事業	01	再生可能エネルギーの推進				
事業の目的	再生可能エネルギー利用機器の設置を推進することにより、再生可能エネルギーの普及を図る。						
事業の概要	地球温暖化防止対策の一環として、市民のクリーンエネルギー利用の支援のため、再生可能エネルギー利用機器の設置者に補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	2,983	4,137	0			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	成果	住宅用太陽光発電システム設置件数（累計）	件	957	1,009		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	国の固定価格が減少しているが、石油価格高騰などにより電気代が高騰しているため、再生可能エネルギーの需要が高まった。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	森林経営管理制度事業			事業開始年度	令和元年度		
担当課	産業経済部 農政課		担当者	小森 大輔			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	06	次代に引き継ぐ豊かな自然と環境				
	施策	01	次世代に継承する自然環境の保全				
	基本事業	02	森林の保全・育成とバイオマスの推進				
事業の目的	適切な経営や管理がされてない森林について、所有者の意向を調査し、林業経営の効率化及び森林管理の適正化を図る。						
事業の概要	森林所有者に意向調査を行い、所有者が経営や管理を行うことが困難な場合は、経営管理権集積計画を策定し、間伐等の森林整備を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	8,113	2,235	10,782			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	成果	経営管理権集積面積	ha	0	3.39	4	4
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	森林所有者に対する意向調査の結果に基づき、経営管理権の集積を図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	環境啓発事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	市民生活部 生活環境課			担当者	物井 祐太		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	06	次代に引き継ぐ豊かな自然と環境				
	施策	01	次世代に継承する自然環境の保全				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	環境問題に関心をもってもらう。						
事業の概要	環境関連の諸問題について、イベント等でパネル展示・環境グッズやパンフレット等の配布・実験等を行い啓発活動を進める。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度		4年度		5年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	163		160		213	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	成果	イベント、講座受講者で環境問題に関心を持った人の割合	%	88	87	90	90
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	環境グッズを作成し、各会議等で環境グッズとパンフレットの配布を実施し環境問題等について周知した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	環境基本計画事業			事業開始年度	平成25年度		
担当課	市民生活部 生活環境課		担当者	物井 祐太			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	06	次代に引き継ぐ豊かな自然と環境				
	施策	01	次世代に継承する自然環境の保全				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	さくら市環境基本計画に基づく適切な進行管理をおこない、さくら市が目指すべき環境像を実現させる。						
事業の概要	計画に基づき環境関係の施策推進をする。なお、環境審議会、環境基本計画策定委員会等により環境基本計画の進行管理をおこなう。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	103	89	320			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	成果	環境基本計画実績報告書の公表		1	1	1	1
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	計画に基づき環境関係の施策推進。環境審議会、市民環境会議により環境基本計画の進行管理をおこなった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		